

# Festival NEWS vol.5

## 1 / 末現在参加者リスト

1	佐藤 隆衛	B	12	高梨 巧司	T	22	岸本 妙子	S	33	田中 里香	A
2	田嶋 美智子	S	12	花輪 憲一	T	22	江端身知子	S	33	田中 秀明	T
3	西野 明彦	T	12	平野 俊幸	B	22	木村 朋子	S	33	伊澤 信昭	B
3	田中 克夫	B	13	関 由紀子	S	22	高橋 京子	S	36	佐藤 和英	B
4	鎌田 郁子	A	13	高梨 雅恵	S	22	吉光 育子	A	41	清水 里美	A
4	常富 晴子	A	13	半澤 幸子	S	22	吉田 亘	T	43	羽田 沙矢加	A
5	堀場 紀子	S	13	伊藤 勝義	B	22	渡辺 直三	B	43	中島 圭博	T
5	小原 洋子	A	14	橋本 恭子	S	23	伊藤 眞由美	S	43	四方 祐平	B
5	安部 洵子	A	14	山田 千恵子	S	23	奥野 浩樹	T	44	大河 愛	S
5	細田 洋司	B	14	関 一雄	B	23	久保 孝明	T	44	伊藤 可奈子	S
6	大小田 宏彌	B	16	西村 節子	S	23	石井 雅巳	B	44	中村 智子	S
7	武信 和恵	S	16	坂田 幹子	S	24	稲田 哲也	B	44	井上 梓	A
7	渡辺 佳子	A	16	吉江 章	T	25	伊藤 晶子	A	44	稲葉 未来里	A
8	林 ひさ子	S	16	早川 功	B	25	米村 久美子	A	44	関 成利	T
9	福田 律子	S	16	占部 隆之	B	25	塩浦 雅代	A	47	宇野 聖和	S
9	寺山 文夫	T	16	黒井 達也	B	25	眞壁 修	T	47	吉村 真美	S
10	酒井 ミサ子	S	17	高坂 一重	S	25	伊藤 泰志	B	47	石澤 薫	A
10	塩入 庸子	A	19	尾崎 徹	T	27	田中 靖	T	47	金沢 素子	A
10	舟橋 葉子	A	19	東海林 宏幸	T	27	高木 敏和	T	47	杵川 剛	T
10	加藤 義夫	T	21	伊藤 智子	S	27	中村 信行	B	47	玉木 隆寛	T
10	橋本 直紀	B	21	岩崎 初音	A	27	高森 洋樹	B	47	玉田 亮太	T
10	天野 明道	B	21	川手 由喜子	A	28	上重 理沙子	S	47	藤井 貴広	B
10	岸 一隆	B	21	櫛淵 由美子	A	28	新楽 浩子	S	47	三山 拓也	B
11	鎌田 雅子	A	21	伊藤 雅彦	T	28	吉川 千恵子	A	47	内藤 浩輝	B
11	斉藤 布美江	A	21	吉田 和典	B	28	大矢 花絵	A	47	横浜 篤史	B
11	福田 隆	B				29	工藤 由利	S	48	林 可奈子	S
						29	片桐 亮子	A	48	石川 雅子	A
						29	武井 和徳	B	48	谷井 宣洋	B
									SOP	30	
									ALT	28	
									TEN	21	
									BASS	31	
									合計	110	

参加者が100人を超えました。近日中に実行委員会を正式に設立します。  
お手伝い頂ける方はお近くのOB会役員までお申し出ください。  
『みんなで参加しようよアカデミーの50周年』が合言葉！！  
今月号は事情によりA4サイズの両面刷りです。

3月発行予定のアカデミータイムスに皆様のメッセージを掲載したいと思います。自筆を切り貼りで掲載しますので書き込んで吉田までお持ち下さい。

皆さんの言葉でより一人でも多くの参加者を募りましょう。 目標150名のOB参加！！

期 氏名  
パート

下記演奏会のプログラムをアカデミーの資料として見つけています。50周年分を学校の図書館に寄贈します。(30周年まで寄贈済)

1987 名古屋  
1988 倉敷  
1990 長野  
1992 定演  
1994 大分  
1996 岡山、広島、6連  
1998 6連  
2002 京都、奈良、大阪  
2003 6連  
2004 6連  
2005 盛岡、福島  
2007 富山

先日、久保君が学校に行って現役と確認して来ました。寄贈して頂ける方、コピーの為お貸し出し頂ける方はOB会事務局久保(23期テナー

## 27期の田中です。

以前OBでも歌っていた時期があるので、ご存知の方も多いかと思えます。

ちょうど僕らの代はアカデミーの分岐点にあたり、卒業まで陽ちゃん先生に見ていただいた最後の代になります。そのような時代でしたので、いつも陽ちゃん先生の体調を気にしながらすべてを進行していった4年間でしたが、そのなかで僕らの思いは「先生のステージ数を減らしてもらってでも、なるべく長く振ってほしい、これから入ってくる後輩たちにもなるべく長く陽ちゃん先生の音楽に触れてほしい」というものでした。

僕らが幹事学年の夏に、その思いを陽ちゃん先生に伝えることになりましたが、その結果「僕はもうアカデミーは振らない」と怒られ、陽ちゃん先生のいない定期演奏会・演奏旅行ということになりました。その緊急事態に際しては関屋先生に急遽お願いし、他の予定をキャンセルして練習に来ていただくなどして助けていただきました。そして次の年の春合宿、先生には“1演奏会につき1ステージ”の条件で帰ってきていただき、そこでやっと私の肩の荷が下りたわけです。

現在私は、大学時代から並行して歌ってきた合唱団におり、年1回の演奏会では毎回1ステージを任されています。現役時代には「Soon ah …」は歌っていないので、この曲を提示されたときは少し戸惑いましたが、ちょうどこの3月6日に行われる演奏会ではドーソン編曲に絞ったニグロのステージを持ちます。なのでタイミング的にはちょうどよいか？ということでお受けすることにしました。過去にアカデミーで演奏されてきたものにとらわれずに「よりニグロらしいニグロの演奏」の追求をテーマにしていきますので、宜しくお願い致します。

## 《演奏上の注意点》

アカデミーOBの皆さんに今さらNegroについて解説するというのは気がひけるので省略させていただきます。

この曲はこれまでアカデミーでもいろいろな指揮者により演奏されてきた曲ですが、その度ごとに演奏のスピード感は違っていたはずですが、なのでどのテンポでやっても人によっては「ちょっと違う。。。」と、しっかりこない感じになりやすいのですが、私は現役時代には歌っていないので、私自身が思うテンポで演奏させていただきます。たぶんみなさんが想像するものよりはゆったりしたものになると思います。

それは多少重く苦しい感じが出ないとこの曲の表現としては正しくないと思うからですが、今回はステージ上の人数が多いことも、その方向にプラスにはたります。

特に、冒頭からの繰り返しのパターン「Soon ah …」の部分は3回ありますが、深く、弱く、またそれ以外の部分と比べて幾分かテンポをゆっくりと歌いたいと思います。

それ以外の部分については「元気ハツラツ！」にならないようにしたいですが、2回目のパターンの後半「weepin' an' a」の掛け合いの部分で、パート毎のテンポ感がズレないように（遅れないように）注意したいところです。この部分はテンポを少しあげていきます。

練習では細かいニュアンスや発音など、うるさく言うことになってしまうと思いますが、文章で伝えるのは非常に困難なので、差し控えさせていただきます。宜しくお願い致します。

10期加藤先輩より 新年会の写真が届きました



投稿をお願いします

自宅 pilot.fc.24.wataru@jcom.home.ne.jp

会社 w-yoshida@pilot.co.jp

携帯 maidookini.pilotkansai.wataru@docomo.ne.jp

皆さんのアカデミーの思い出話や写真などお待ちしております。

OB会 事務局 吉田